

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称:鉄粉・焼石膏混合粉末

製品名:S91プレミックス(粉美人®)

製品番号:

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途:直播用稲種子コーティング用

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称:キンセイマテック株式会社

住所:大阪府中央区平野町2丁目3番7号

電話番号:06-6221-1290

FAX:06-6221-1299

緊急連絡先電話:06-6221-1290

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類及びGHSラベル要素

GHS分類

健康に対する有害性

皮膚腐食性・刺激性:区分3

眼に対する重篤な損傷性または眼刺激性:区分2B

生殖毒性:区分1B

特定標的臓器毒性(単回ばく露):区分1(呼吸器の障害)

特定標的臓器毒性(反復ばく露):区分1(呼吸器、神経系の障害)

環境に対する有害性

水生環境有害性 長期(慢性):区分4(水生生物に有害のおそれ)

GHSラベル要素



注意喚起語:危険

危険有害性情報

H320 眼刺激性

H360 生殖能、または、胎児への悪影響のおそれ

H370 呼吸器の障害

H372 長期にわたる、または、反復ばく露による呼吸器、神経系の障害

H413 長期継続的影響によって水生生物に有害のおそれ

注意書き

安全対策

P264 取扱い後、手をよく洗うこと。

P201 使用前に取扱説明書を入手すること。

P202 すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

P270 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

P273 環境への放出を避けること。

応急措置

P305+P351+P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

P264 取扱い後、手をよく洗うこと。

P337+P313 眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当てを受けること。

P308+P313 暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断／手当てを受けること。

P308+P311 暴露または暴露の懸念がある場合：医師に連絡すること。

P314 気分が悪い時は、医師の診断／手当てを受けること。

保管

P403 換気の良い場所で保管すること。

P405 施錠して保管すること。

廃棄

P501 内容物／容器を地方／国の規則に従って廃棄すること。

3.組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

混合物

| 成分名 | CAS No. | 含有量(%) | 化審法番号 |
|-------------|------------|--------|-------|
| 鉄 | 7439-89-6 | 残部 | — |
| マンガン | 7439-96-5 | <0.5 | — |
| 硫酸カルシウム半水和物 | 10034-76-1 | <10 | 1-193 |

危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

マンガン及びその化合物

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

マンガン及びその化合物

4.応急措置

応急措置の記述

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。水又はシャワーで洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。無理にはかせないこと。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

医師に対する特別な注意事項

情報なし。

5.火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

放水または消火器あるいは乾燥砂により消火

使ってはならない消火剤

情報なし。

特有の危険有害性

なし。

消火を行う者への勧告

特有の消火方法

なし。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

防火服又は防災服を着用すること。

保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

消火作業従事者は全面型陽圧の自給式呼吸保護具を着用する。

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

区域より退避させる。

関係者以外は近づけない。

換気不十分な場所で漏洩を処理するときは自給式呼吸保護具を着用する。

適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

河川等に流出した場合は、管轄機関に連絡する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏洩物を吸引し、密閉できる容器に回収する。

漏洩物を取り扱うとき用いる全ての設備は設置する。

二次災害の防止策

漏洩物を回収すること。

安全に対処できるならば漏洩を止めること。

7.取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。

ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入を避けること。

(火災・爆発の防止)

周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。

(局所排気、全体換気)

排気／換気設備を設ける。

安全取扱い注意事項

屋外又は換気の良い場所だけで使用すること。

保護手袋／保護衣／保護面を着用すること。

保護眼鏡／保護面を着用すること。

接触回避

なし。

衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

取扱い後はよく手を洗うこと。

保管

安全な保管条件

換気の良い場所で保管すること。

施錠して保管すること。

日光から遮断し、換気の良い場所で保管すること。

安全な容器包装材料

情報なし。

8.ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度

(マンガン)

0.2mg/m³

許容濃度

(マンガン)

日本産業衛生学会:0.2mg/m³(吸入性粉じん)

日本産業衛生学会:8mg/m³(総粉じん)

ACGIH(2005) TLV-TWA:0.2mg/m³

ばく露防止

設備対策

排気／換気設備を設ける。

防爆の電気、換気、照明機器を使用する。

手洗い／洗顔設備と安全シャワーを設置する。

保護具

呼吸用保護具

呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具

保護手袋を着用すること。

眼の保護具

安全眼鏡を着用すること。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用すること。

9.物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態:固体(粉体)

色:灰色

臭い:なし

臭いの閾値:情報なし

pH:情報なし

沸点又は初留点:1,535℃(鉄)

沸点範囲:情報なし

蒸発速度:情報なし

融点／凝固点:情報なし

分解温度:情報なし

自己促進分解温度／SADT:情報なし

可燃性(ガス、液体及び固体):なし

引火点:なし

自然発火点:なし

臨界温度:情報なし

爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界

爆発下限:なし

爆発上限:なし

蒸気圧:データなし

蒸気密度:データなし

VOC:データなし

相対ガス密度(空気=1):情報なし

20℃での蒸気／空気-混合物の相対密度(空気=1):情報なし

密度及び／又は相対密度:6.5～8.0

動粘度:情報なし

動粘性率:情報なし

溶解度

水に対する溶解度:0.7g/100mL(焼石膏)

溶媒に対する溶解度:情報なし

溶媒の溶解度:情報なし

n-オクタノール／水分配係数:情報なし

粒子特性:平均径55～60μmの不定形粒子。

10.安定性及び反応性

反応性

化学的安定性

通常の保管条件／取扱い条件において安定である。

危険有害反応可能性

酸、アルカリなどの化学物質と接触すると、有害なガス発生の原因となる可能性がある。

避けるべき条件

空気との混合比率によって、そこに着火源があると粉塵爆発の危険性がある。

混触危険物質

強酸化剤、強酸

危険有害な分解生成物

通常の実験条件下では発生しない。

11.有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

情報なし

局所効果

皮膚腐食性／刺激性

区分3(マンガン)

眼に対する重篤な損傷性／目刺激性

区分2B(マンガン)

呼吸器感作性又は皮膚感作性

情報なし

生殖細胞変異原性

情報なし

発がん性

情報なし

催奇形性

情報なし

生殖毒性

区分1B(マンガン)

特定標的臓器毒性

単回ばく露:区分1(マンガン)

反復ばく露:区分1(マンガン)

誤えん有害性

情報なし

12.環境影響情報

水生環境有害性 長期(慢性)

区分4(マンガン)

13.廃棄上の注意

廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。

内容物／容器を地方／国の規則に従って廃棄すること。

14.輸送上の注意

国連番号、国連分類

該当しない。

IMDG Code(国際海上危険物規定)

該当しない。

IATA(航空危険物規則書)

該当しない。

環境有害性

該当しない。

国内規制がある場合の規制情報

規制なし。

15.適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則／法令

労働安全衛生法

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

名称表示危険／有害物

マンガン及びその化合物(別表9の550)

名称通知危険／有害物

マンガン及びその化合物(別表9の550)

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

第1種指定化学物質(412)

16.その他の情報

参考文献

GHS対応一管法・安衛法におけるラベル表示・SDS提供制度

独立行政法人 製品評価技術基盤機構(NITE)ホームページ

職場の安全サイト(厚生労働省)